様式２

2025　年　3　月　30　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ベジファームきのかわ
住　所	和歌山県紀の川市東国分350-1
電話番号	0736-60-2649

事業所番号	3011700915
管理者名	澤田　淳
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：　県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛801会議室

実施日程：　2025年9月12日(金)14:00～16:00

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：

一般就労に求められるスキルを学ぶための外部セミナー参加

利用者数等：　3名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい

①一般就労に求められるスキルや姿勢を学ぶため

利用者にとってのメリット

①就労意欲の向上　②適性に応じた就労環境を知る

＜成果＞

実施した結果：　①　事業所の外に目を向け、視野を広げるきっかけとなった

得られた成果：　①　一般就労に対する意識の向上

②　コミュニケーションの重要さ

課題点：　①　作業現場の人員が少なくなる

＜活動の様子＞



主催：　和歌山県労働局

委託先：　和歌山県経営者協会

テーマ：　障害者就職支援セミナー

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

事業所内での訓練のみであると単調になって慣れが出てきてしまい、将来的な一般就労に対する意欲が上がりにくい状況が生じる。定期的に、外部の研修を活用して刺激があることで、一般就労の意欲も高まると思われる。

今後の連携強化に向けた課題

定期的な外部研修の場を設けるために、作業現場の人員をどう埋めるかを検討する必要がある。

連携先企業（担当者）	

利用者からの意見・評価

利用者①　何のために働くのかを自分の中で持っておかないと、働くことにしんどさを感じた時に続けられないことになるという話は、なるほどと思った。

利用者②　働くことで様々なものが得られるが、働き続けないと得られないという話が印象に残った。

利用者③　履歴書の話の時に、見た目で判断されてしまうこともあるため、どのように見られるのかを意識しなければいけないという話を聞いて、相手に良い印象を持ってもらえるような見た目を心がけようと思った。